

正解・解答例

教科・科目名	国語（前期日程試験：令和8年度） 1 / 2	問題番号	K1
対象学部・学科(課程)等	人文社会科学部（社会学科、言語文化学科）、教育学部学校教育教員養成課程（音楽教育専修、美術教育専修、保健体育教育専修を除く各専攻・専修）、グローバル共創科学部		
<p data-bbox="316 913 355 958">1</p> <p data-bbox="309 1021 432 1059">60 %</p> <p data-bbox="205 1122 402 1211">採点時の配点 120点</p>	<p data-bbox="491 553 715 790">問一 （ア）窮屈 （イ）帰結 （ウ）含意 （エ）洞察 （オ）発揮</p> <p data-bbox="491 860 1445 947">問二 駅で両親とはぐれて泣いている小さな子どもを、職場に向かうために放置して立ち去ることが、無責任だと思い心残りを感じることに。</p> <p data-bbox="491 1014 1066 1050">問三 責任の対象の傷つきやすさ（12文字）</p> <p data-bbox="491 1120 1445 1252">問四 子どもを守ることが迷子に対する責任の本質であり、責任の担い手は初めに保護した者に限られない。状況によっては、駅員など他者に委ねる方が適切な場合もあるということ。</p> <p data-bbox="491 1321 1445 1456">問五 愛や幸福といった自分にとっての価値を動機とするのではなく、そうした私的利害に囚われずに他者への責任を引き受けて行動するという意味で、自由を発揮しているということ。</p> <p data-bbox="491 1525 1445 2022">問六（解答例）「弱い責任」は人が孤立せず生きる上で重要であると考えます。「弱い責任」が生まれる身近な事例は、辛いことや困っていることを言葉にし、誰かがそれに耳を傾けることだと考えられる。テレビ番組で子どもが今困っていることを言葉にしてクラスメイトにペアで伝え合う小学校での取り組みを見た。なかなか言葉にできない子どももおり、聞いた子どもができることは「それはつらいね」「私もそういうことある」という受け止めであったが、困ったことを心の外に出してよい、簡単に解決しなくても受け止められることが支えになるという経験をしていた。思いを聞き合う身近な経験が問題を抱え込まず「弱い責任」を共有できる社会の基盤になると考える。(299文字)</p>		

正解・解答例

教科・科目名	国語（前期日程試験：令和8年度） 2 / 2	問題番号	K 1
対象学部・学科(課程)等	人文社会科学部（社会学科、言語文化学科）、教育学部学校教育教員養成課程（音楽教育専修、美術教育専修、保健体育教育専修を除く各専攻・専修）、グローバル共創科学部		
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">2</div> 20 % 採点時の配点 40 点	<p>問一 (a) すぐれた (b) 楽しむ (c) お治めになる</p> <p>問二 この世に生まれた者や、この国に来た者は、身分の高い者も低い者も、この和歌というものを詠まない者は少ない。</p> <p>問三 イ</p> <p>問四 和歌の道が興隆し、言葉の世界が往古よりもさらに奥深く、また、豊かであること。</p> <p>問五 イウエ</p>		
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">3</div> 20 % 採点時の配点 40 点	<p>問一 君主が賞や罰のルールを明確にすれば、政治は難しくない。</p> <p>問二 夫れ賞罰は、必ずしも重きに在らずして、必ず行うに在り。</p> <p>問三 褒賞が少ないと民は一生懸命にならず、また罰則が軽いと民は罰を恐れなくなり、褒賞が多すぎると民は褒賞ばかりを求めるようになり、罰則が重すぎると民は緊張が絶えなくなるから。</p>		

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	国語 (前期日程試験：令和8年度)	問題番号	K1
対象学部・学科(課程)等	人文社会科学部(社会学科、言語文化学科)・教育学部学校教育教員養成課程(音楽教育専修、美術教育専修、保健体育教育専修を除く各専攻・専修)・グローバル共創科学部		
出題のねらい	<p>① 現代的な評論文を読んで、基礎的な知識、文脈を把握する読解力、論理的な思考力と基礎的表現力をみる。</p> <p>② 古文の文法および語法の知識に基づき、適切な形式での理解力・表現力をみる。</p> <p>③ 漢文の文法および語法の知識に基づき、適切な形式での理解力・表現力をみる。</p>		
採点基準 (点数は200点満点の場合)	<p>① 配点60%(120点) 問1 20点(4点×5) 問2 15点 問3 10点 問4 15点 問5 20点 問6 40点</p> <p>② 配点20%(40点) 問1 12点(4点×3) 問2 9点 問3 4点 問4 9点 問5 6点</p> <p>③ 配点20%(40点) 問1 10点 問2 10点 問3 20点</p>		